

宇宙電波懇談会総会

日時: 2024/03/18(月) 12:00-

場所: Zoom

参加者数: 44名 (12:42時点)

議題

1. 運営委員会開催状況
 - 2ヶ月に1回程度の頻度で開催した。この2年で計12回開催した。
2. 宇電懇シンポジウム(大西)
 - 2024/03/04-05に天文台+オンラインで開催した。SOCは将来計画WGが務めた。両日とも、現地+Zoomで100名以上が参加した。
 - 懇親会を開催した。こちらも多数が参加し、活発な議論ができた。
 - 若手研究発表セッションを設けた。
 - 学生ポスター発表・賞: 時間を設けてセミナー室内で議論した。運営委員による投票の結果、最優秀発表賞2名、優秀発表賞3名を選出した。賞状を発送した。
3. 文科省のロードマップの状況
 - 正式名称: 「学術研究の大型プロジェクトの推進に関する基本構想(ロードマップ)」
 - 予算に直結するロードマップという位置付けである。
 - SKA1、LiteBIRD、ATT10(その後ATT12に変更)の3計画の応募に対し、サポートレターを宇電懇から提出した。
 - 2023年12月22日に公表されたロードマップには、LiteBIRDのみが掲載された。
4. 国立天文台運営会議委員の推薦
 - 2024年1月に宇電懇会員による投票を実施した。その結果を元に運営委員で議論を行い、5名を推薦した。
 - 決定した委員の連絡は、本総会開催時点ではまだ届いていない。
5. 次期宇電懇運営委員の選挙
 - 2024/03/01-14で投票を実施し、得票数上位3名を選出した。投票数が100を超えた。多くの方に参加していただいたことに感謝します。
 - Q. 得票数分布を教えてください -> A. 上位3名の得票数は14以上、4位は12
 - 選出された3名からの挨拶があり、本総会にて承認された。
 - c.f. 次期事務局は、東北大学大学院理学研究科。
6. 国立天文台科学戦略委員会報告(河野)
 - 第5期中期計画が2028年に始まるので、そのための準備が進んでいる。各ステージでのタイムラインが提示された。
 - 2023年度の将来計画シンポジウムにおける議論内容を紹介した。
 - 資料は後日ウェブページで公開する
7. 宇電懇ニュース
 - 次号はNo. 123。宇電懇シンポの内容報告などが含まれる予定。
8. URSI関連報告(久野)、学術会議報告(奥村)

- URSI: 来年度から26期。任期は3年。J小委員会の委員長は引き続き久野さん。委員は慣習として運営委員が努めてきたが、それ以外の人でも委員になれる。
 - Q. 任期が運営委員と異なるが、どう対応している？ -> A. 運営委員の任期が切れてもJ小委員会の委員は継続していた
 - 欠席の運営委員もいるので、久野さんから改めて依頼のメールを送ることに決定した。
 - 学術会議: 学術会議の構造と宇電懇の関係について説明した。宇電懇には「URSI分科会J小委員会」と「天宇/IAU分科会」の2つのチャンネルがある。
 - 学術会議を法人化する可能性について、賛成・反対の両面から議論が勧められている
 - 03/19(火)に報告会を行う
9. 事務局活動報告
- 会員は現在393名。異動に伴うメールアドレス等の変更は速やかにご連絡ください。
 - 次期事務局(東北大学・三澤さん)よりご挨拶
10. その他、各種報告・意見交換